

○ 現行計画の体系

第1章 計画の趣旨
 1 計画策定の趣旨
 2 計画の位置付け
 3 計画の期間
 4 計画の構成・特徴

第2章 高齢者を取り巻く環境の動向と課題の整理
 1 国の動向
 2 宇都宮市の高齢者の状況
 3 基礎調査結果
 4 前期計画の課題の整理
 5 次期計画に向けた新たな課題
 6 課題の総括

第3章 計画の基本理念と基本目標

第4章 施策・事業の展開
 1 施策の体系
 2 基本目標ごとの取組
 ■ 基本目標1 健康で生きがいのある豊かな生活の実現
 1 健康づくりの推進
 2 生きがいづくりの推進
 ■ 基本目標2 地域で支え合う社会の実現
 1 地域での支え合い体制の確保
 2 高齢者にやさしいまちづくりの推進
 3 安全で安心な暮らしの支援
 ■ 基本目標3 介護サービスが創る笑顔あふれる社会の実現
 1 介護保険事業の充実
 2 介護サービスの質の向上
 3 介護者への支援
 4 在宅医療・介護連携の推進
 ■ 基本目標4 いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現
 1 高齢者の状況に応じた在宅福祉サービスの提供
 2 高齢者の自立した生活を支える住環境の整備
 3 認知症高齢者等対策の充実
 4 高齢者の権利を守る制度の利用支援

第5章 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて
 1 地域包括ケアシステムの将来像
 (1) 2025年の地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の方向性
 (2) 市民の身体状況に応じた自立した生活の実現
 (3) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組
 (4) 地域包括ケアシステム構築に向けた工程と主な施策・事業
 (5) 身近な地域から市域全体までの重層的な体制の構築
 2 市民理解の促進

第6章 計画の推進に向けて

○ 次期計画の骨子（案）

第1章 計画の趣旨
 1 計画策定の趣旨
 2 計画の位置付け
 3 計画の期間
 4 計画の構成・特徴

第2章 高齢者を取り巻く環境の動向と課題の整理
 1 国の動向
 2 宇都宮市の状況
 ★ 2025・2040年の将来推計や地域別データ分析の結果、基礎調査結果など
 3 前期計画の課題の整理
 4 次期計画に向けた課題

第3章 計画の基本理念と基本目標

第4章 施策・事業の展開
 1 施策の体系
 2 基本目標ごとの取組
 ■ 基本目標1 健康で生きがいのある豊かな生活の実現
 1 健康づくり（介護予防）の推進
 ★ 社会参加を促す仕組みづくり
 ★ 通いの場の充実（介護予防と保健事業の一体的実施を含む）
 2 生きがいづくりの推進
 ■ 基本目標2 地域で支え合う社会の実現
 1 地域での支え合い体制の確保
 ★ 地域包括支援センターの機能強化
 2 高齢者にやさしいまちづくりの推進
 3 安全で安心な暮らしの支援
 ■ 基本目標3 介護サービスが創る笑顔あふれる社会の実現
 1 介護サービスの安定的な提供
 2 介護サービスの質の向上
 ★ 自立支援・重度化防止の取組の強化
 3 介護者への支援
 4 在宅医療・介護連携の推進
 5 介護人材の確保
 ■ 基本目標4 いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現
 1 高齢者の状況に応じた在宅福祉サービスの提供
 2 高齢者の自立した生活を支える住環境の整備
 3 認知症高齢者等対策の充実
 ★ 「共生」と「予防」を軸とした認知症対策の充実
 4 高齢者の権利を守る制度の利用支援

第5章 地域共生社会の実現を見据えた地域包括ケアシステムの更なる深化・推進
 1 本市が目指す地域包括ケアシステムの姿
 2 今後の方向性
 ★ 包括的な支援体制の構築に向けた地域や多機関との協働
 3 市民理解の促進

第6章 計画の推進に向けて

現行計画からの流れを踏まえて次期計画策定の趣旨・目的を明らかにするほか、法の根拠に基づくものや本市の各種計画との関連性などの視点から計画の位置付けを明らかにする。

計画策定の背景として、現行計画策定以降の社会情勢等の変化を踏まえ、計画全体において共通に認識すべき課題を明らかにする。

次期計画において本市が取り組む施策の方向性を明らかにする。

次期計画において本市が取り組む施策・事業を基本目標ごとに体系化し、内容等を明らかにする。

視点1

視点2

視点3

視点4

視点5

本市が目指す地域包括ケアシステムの姿や、今後の方向性などを明らかにする。

次期計画の進行管理の考え方を明らかにする。